

2022年3月24日

関係各位

会社名:三井物産株式会社

代表者名:代表取締役社長 堀 健一

(コード番号:8031)

本社所在地:東京都千代田区大手町一丁目2番1号

役員人事

2022年3月24日開催の取締役会において、来る6月22日開催予定の定時株主総会に付議される予定の社外取締役及び社外監査役人事が添付の通り決議されましたのでお知らせ致します。

<内容一覧>

I. 取締役人事

1) 重任社外取締役 (6月22日株主総会付議予定)

II. 監査役人事

1) 新任社外監査役 (6月22日株主総会付議予定)

2) 退任社外監査役 (6月22日株主総会日付)

【添付資料】

- ①6月22日開催予定株主総会日以降の取締役・監査役体制
- ②6月22日開催予定株主総会日以降の役員数
- ③重任取締役の選任理由
- ④新任監査役略歴・選任理由

I. 取締役人事

1) 重任社外取締役 5名

2022年6月22日株主総会付議予定

氏名	新	現
小林 いずみ	社外取締役	社外取締役
Jenifer Rogers	社外取締役	社外取締役
Samuel Walsh	社外取締役	社外取締役
内山田 竹 志	社外取締役	社外取締役
江 川 雅 子	社外取締役	社外取締役

II. 監査役人事

1) 新任社外監査役 1名

2022年6月22日株主総会付議予定

氏名	新	現
玉 井 裕 子	社外監査役	

2) 退任社外監査役 1名

2022年6月22日株主総会日付

氏名	新	現
松 山 遙	退任	社外監査役

以 上

【6月22日開催予定株主総会日以降の取締役・監査役体制】

代表取締役会長	安 永 竜 夫
代表取締役社長	堀 健 一
代表取締役	米 谷 佳 夫
代表取締役	宇 野 元 明
代表取締役	竹 増 喜 明
代表取締役	中 井 一 雅
代表取締役	重 田 哲 也
代表取締役	佐 藤 理
代表取締役	松 井 透
* 取締役	小 林 いずみ
* 取締役	Jenifer Rogers
* 取締役	Samuel Walsh
* 取締役	内山田 竹 志
* 取締役	江 川 雅 子
常勤監査役	鈴 木 慎
常勤監査役	塩 谷 公 朗
* 監査役	小 津 博 司
* 監査役	森 公 高
* 監査役	玉 井 裕 子

*は社外取締役・社外監査役

【6月22日開催予定株主総会日以降の役員数】

〈取締役〉

代表取締役会長	1名
代表取締役社長	1名
代表取締役	7名
社外取締役	5名
取締役 合計	14名

〈監査役〉

常勤監査役	2名
社外監査役	3名
監査役 合計	5名

〈取締役・監査役〉

取締役・監査役 合計	19名（内、社外8名）
------------	-------------

重任取締役の選任理由

添付③

氏名	取締役候補者とした理由
安永 竜夫	安永竜夫氏は、経営企画部長、機械・輸送システム本部長等を経て、2015年4月から2021年3月までの6年間、当社社長として卓越した経営手腕を発揮し、当社の成長に多大な貢献を果たしました。同年4月の会長就任後は、対外活動に加え、経営の監督に注力し、取締役会の議長として高い実効性を備えた取締役会運営に寄与しています。経営に関する幅広い経験とコーポレート・ガバナンスに関する深い知見を当社ガバナンスの強化に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。 なお、当社における会長の役割は、主として経営の監督を行うことであり、執行役員を兼務せず、日常の業務執行には関与しません。
堀 健一	堀健一氏は、化学品、次世代・機能推進各分野での卓越した見識・実績、及び当社経営者に相応しい人格を兼ね備え、米国Novus International社への出向、IR部長、経営企画部長、ニュートリション・アグリカルチャー本部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2018年6月に取締役に就任し、2021年4月に社長に就任しました。社長就任後、最高経営責任者兼取締役として、意思決定と業務執行の監督の両面で十分な役割を果たしています。中期経営計画2023遂行に向け、明確なリーダーシップのもと、事業環境が大きく変化する中で「変革と成長」による企業価値向上をさらに強力に推し進めていくことを期待し、引き続き同氏を取締役候補者とするものです。
米谷 佳夫	米谷佳夫氏は、機械・インフラ分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、プロジェクト業務部長、アジア・大洋州副本部長、プロジェクト本部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2019年6月に取締役に就任しました。現在は、プロジェクト本部、モビリティ第一・第二本部、エネルギーソリューション本部並びにCDIOとしてICT事業本部及びデジタル総合戦略部を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るうと共に、優れたリーダーシップをもって、デジタルトランスフォーメーションや低炭素社会実現に向けた取組みに対しても強いリーダーシップを発揮して推進しています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
宇野 元明	宇野元明氏は、鉄鋼製品分野での卓越した見識・実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、金属業務部長、インドネシア三井物産社長、アジア・大洋州本部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2021年6月に取締役に就任しました。現在は、鉄鋼製品本部、金属資源本部、コーポレートディベロップメント本部、アジア・大洋州本部を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るうと共に、優れたリーダーシップをもってMarket Asiaでの取組みを推進しています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
竹増 喜明	竹増喜明氏は、化学品分野での卓越した専門知識と実績、及び当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格を兼ね備え、アグリサイエンス事業部長、アジア・大洋州本部CSO、人事総務部長等の経験を通じ培った優れた経営手腕を振るうべく、2021年6月に取締役に就任しました。現在は、CHRO/CCOとして人事総務、法務、物流等、関連のコーポレートスタッフ部門を管掌し、当社事業についての高い見識に基づき、卓越した経営手腕を振るうと共に、優れたリーダーシップをもって当社グループにおけるインテグリティ・コンプライアンスの浸透・徹底や働き方改革を含むダイバーシティ等を推進しています。これらの経験や見識を取締役会での意思決定と業務執行の監督に活かすべく、引き続き取締役候補者とするものです。
小林 いずみ	小林いずみ氏は、民間金融機関及び国際開発金融機関の代表を務めた経験により培われた、イノベーションを生む組織運営やリスクマネジメントに関する高い見識を有しています。取締役会では多角的な視点から活発に発言し、議論を深めることに大いに貢献しています。2022年3月期は、指名委員会の委員長として、CEOサクセッションプランの透明性及び実効性の向上において強いリーダーシップを発揮したほか、報酬委員会の委員として、役員報酬・評価制度の改定に関する議論に貢献しました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
Jennifer Rogers	ジェニファー ロジャーズ氏は、国際金融機関での勤務経験や企業内弁護士としての法務業務の経験により培われた、グローバルな視野及びリスクマネジメントに関する高い見識を有しています。取締役会ではリスクコントロールに資する有益な発言を多く行い、取締役会の監督機能の向上に大いに貢献しています。2022年3月期はガバナンス委員会の委員を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築に向け、積極的に意見を述べました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
Samuel Walsh	サミュエル ウォルシュ氏は、長年に亘り、自動車産業での上級管理職及び国際的資源事業会社の最高経営責任者として培ってきたグローバルな見識と卓越した経営能力を有しています。取締役会では豊富な事業経営経験に基づき幅広い観点からの提言・指摘等を多く行い、取締役会の議論の活性化や実効性の向上に大いに貢献しています。2022年3月期はガバナンス委員会の委員を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築に向け、積極的に意見を述べました。同氏のグローバル企業の経営経験や資本政策・事業投資に係る見識・知見に基づき、多角的な視点から、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
内山田 竹志	内山田竹志氏は、長年に亘り、トヨタ自動車(株)において時代が求めるモビリティ社会を実現し得る環境・安全技術の研究開発や、消費者が求める製品の開発を手掛けてきた経験と有しており、同社の役員として優れた経営手腕を発揮しております。取締役会ではグローバル企業におけるマネジメント経験と社会全般に対する高い見識に基づき幅広い視点からの提言・指摘等を多く行い、取締役会の議論の活性化や実効性の向上に大いに貢献しています。2022年3月期は、指名委員会の委員として、CEOサクセッションプランを含む経営陣幹部の選任プロセスの透明性及び実効性の向上に向けた議論に貢献しました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。
江川 雅子	江川雅子氏は、東京大学の役員としての経営の経験、グローバルな金融機関での長年の勤務経験、日本企業の経営やコーポレート・ガバナンスに関する研究を通じて培ってきた金融及び企業経営に亘る高い見識を有しています。また、日米教育委員会や財務省の審議会委員等の職務遂行など、幅広く公益にも貢献しています。2022年3月期は、ガバナンス委員会の委員を務め、透明性の高いガバナンス体制の構築に向け、積極的に意見を述べたほか、報酬委員会の委員として、役員報酬・評価制度の改定に関する議論に貢献しました。これらの点を考慮し、引き続き当社の経営への助言と監督を行っていただくべく、社外取締役候補者とするものです。

玉井 裕子

(タマイ ヌウコ)

生年月日: 1965年 11月 28 日生

学 歴: 1989年 3月 東京大学法学部卒業
2000年 6月 Harvard Law School (LL.M.) 卒業

略 歴:

1994年	4月	長島・大野法律事務所(現 長島・大野・常松法律事務所)入所
2000年	9月	Covington & Burling LLP (Washington, D.C.) 勤務
01年	5月	長島・大野・常松法律事務所 復帰
03年	1月	同事務所パートナー就任(現職)
15年	6月	株式会社国際協力銀行 社外監査役(現職)
17年	6月	三井製糖株式会社 社外取締役(2021年4月退任)
17年	8月	経済産業省「我が国企業による海外M&A研究会」委員(～2018年3月)
18年	11月	経済産業省「公正なM&Aの在り方に関する研究会」委員(～2019年6月)
19年	4月	公認会計士・監査審査会非常勤委員(現職)

選任理由: 玉井裕子氏は、弁護士としての長年の法律実務の経験により培われた、企業法務、コーポレート・ガバナンス及びリスクマネジメントに関する高い見識、並びに、他社社外役員や公認会計士・監査審査会の委員(非常勤)としての経験を有しており、これらの経験や知見を活かし、当社経営に対する貴重な意見・助言等により、社外監査役としての職務を適切に遂行いただけると判断します。

所有株式数: 0株